

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2027 号

Characteristics of patients who fell into open drains: a report from a single emergency center in East Shizuoka

(開渠側溝転落に関する患者の特徴：静岡県東部における救命救急センターからの報告)

日城 佳 (じついき けい)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

開渠側溝とは道路の側端に設けられた小水路の中で蓋に覆われていないものを指す。当院が位置する静岡県東部地域では開渠側溝が未だ数多く存在し、これに誤って転落し受傷する症例が後を絶たない。こうした開渠側溝転落外傷の症例が一定数存在することを受け、その特徴を明らかにする目的で過去の経験症例に関して疫学的検討を行った。

調査期間は過去 2 年間で、当院に救急搬送された外傷症例、受傷機転に開渠側溝が関与しているものを対象とした。対象の性別、年齢、受傷機転、診断名、injury severity score (外傷重症度スコア、以下 ISS)、帰宅もしくは入院、生死に関して診療録から情報を収集した。また、外来診療後帰宅した症例 (帰宅群) と入院症例 (入院群) との 2 群に分類し、両群間で、年齢、性別比、受傷時の状況 (歩行もしくは非歩行)、ISS、生存率に関して比較検討を行った。

調査の結果、側溝転落外傷は児童から高齢者まで広範囲の年齢層で発生しており、42%で入院を要する外傷を受傷していた。また、女性、高齢者が重症外傷を受傷しやすく、入院する傾向を示した。

本論文は開渠側溝を受傷起点として検討を行った本邦で初めての報告である。側溝転落外傷は受傷部位によっては重篤な後遺症や転帰を来す可能性のある外傷であり、その特徴や危険性を明らかにすることは臨床的に意義がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。